

令和7年度 東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅰ（第1回） 募集要項

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、延期または中止になる可能性があります。延期および中止の場合は、当センターホームページに掲載します。ホームページをご覧になれない方は、当センターまでお問い合わせください。

1 目的

急性期医療に関わる一般病棟の看護師等に対し、入院から退院後の在宅生活まで視野にいた認知症ケアについての知識等を学ぶための研修を実施することにより、認知症の人が病院で治療を受けると、退院後にもとの生活に戻ることができることを促進することを目的とする。

2 実施主体 地域拠点型認知症疾患医療センター 薫風会山田病院(東京都から受託して実施)

3 研修対象者

圏域内の医療機関等に勤務する看護師。また希望がある場合には、精神保健福祉士、臨床心理士、薬剤師、作業療法士等の看護師以外の職種の者の受講も可能とする。

※令和6年度までに「東京都看護師認知症対応力向上研修」

又は「東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅰ」を修了した者は対象外とする。

4 研修日時

令和7年7月18日(金) 10時00分から16時10分まで

5 研修会場 J:COM コール田無 2階イベントルーム

(所在地: 〒188-0011 東京都西東京市田無町 3-7-2)

6 カリキュラム

東京都の標準カリキュラムに基づき実施(裏面のとおり)

7 募集定員 : 30名 (定員に達し次第締め切り)

※1 施設2名までの申込とさせていただきます。

8 受講料 : 無料

9 申込方法及び申込期限

(1)申込方法

LOGOフォームにてお手続きください(別紙)

※右QRコードで申請ページにアクセス可能です。



<https://logoform.jp/f/YGTjD>

(2)申込期限

令和7年7月4日(金曜日)まで

10 申込み先・問い合わせ先

薫風会山田病院 認知症疾患医療センター(住所 : 東京都西東京市南町 3-4-10)

担当者 : 竹内、田沼

電話番号 : 042-461-0622 (Fax 番号 : 042-461-0626)

11 その他

(1)研修修了者名簿は、各区市町村からの求めにより、東京都を通じ各区市町村へ提供しますので、予め御了承下さい。

(2)研修の全カリキュラムを修了された方には、研修終了後東京都から修了証書が交付されます。

(3)本研修修了者のうち、病院に勤務する指導的役割の看護師は「東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅱ」の受講が可能です。

(4)早退および研修開始後 15 分以上の遅刻は、修了証書の発行対象外となりますので、ご了承ください。

(5)昼食のご用意をお願いいたします

東京都看護師認知症対応力向上研修 I 標準カリキュラム
(地域拠点型認知症疾患医療センター 薫風会山田病院 一部改訂)

研修のねらい

- 1 認知症とそのケアに関する正しい知識に基づいた、認知症の人の適切なアセスメント及び対応方法を習得する。
- 2 院内・院外が多職種・他職種連携の意義を理解する。

到達目標

- 1 主な認知症疾患、認知症の人の特徴及びケアの基本を理解する。
- 2 認知症の人のアセスメントのポイント、コミュニケーション方法、環境調整、せん妄ケアと身体拘束について理解する。
- 3 認知症の人の在宅生活の現状を理解し、院内・院外の関係職種・機関との連携のあり方を理解する。

区分／時間数	実施内容
1 意義と役割 ／講義 10 分	・研修の意義と修了者の役割
2 認知症に関する知識 ／講義 30 分	・認知症の主な原因疾患、症状と経過 ・鑑別すべき疾患と薬物の基礎知識 ・身体面の特徴 <参考> テキスト第1章 認知症に関する知識 ① 認知症とは ②身体面の特徴
3 認知症ケアに関する知識 ／講義 120 分	・認知症ケアの基本的な考え方 ・心理面からの特徴とケアの基本 ・認知症の人の心身、生活に対する環境の影響 ・認知症の人のコミュニケーションの特徴と対応方法 ・認知症の人の基本的なアセスメント方法 ・環境調整の実施 ・せん妄の基本的な知識とアセスメント ・せん妄の予防、発見及び対応 ・入院治療に伴うリスクと身体拘束 <参考> テキスト第1章 認知症に関する知識 ③ 心理面の特徴 ④環境の影響 テキスト第2章 認知症ケアに関する知識 ① ケアの原則 ②認知症の人のアセスメント ④ コミュニケーション方法と気を付けたいこと ⑤ 環境調整 ⑤せん妄ケア（予防と対応） ⑥ 認知症をもつ患者のリスクマネジメント ⑧ 退院に向けた支援
4 認知症の人を支える連携等について ／講義 30 分	・東京都の認知症施策について ・認知症の人の在宅生活を支える諸制度 ・退院支援に係る他職種・他施設との連携 <参考> テキスト第3章 認知症の人の在宅生活に関する知識 ① 在宅での認知症の人の家族の現状 ② 様々な人が支える在宅生活 ③ ケア連携の方法 ④ 長期療養施設での生活 ⑤ 認知症の人を支える地域連携に向けた施策
グループワークの目標	
認知症とそのケアに関する正しい知識に基づいたコミュニケーション及びケア等を実践することができる。	
グループワーク ／演習 90 分	演習A：チームケア「自己、自部署の看護や言動を振り返り、認知症患者の尊厳を守るチームケア推進のためにできることを考える」 演習B：認知症・認知症看護に関する演習「言動の原因を考える」